

平成 29 年度第 1 回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 平成 29 年 6 月 29 日 (木) 午前 10 時から午前 11 時 35 分まで

場 所 日進市役所本庁舎 4 階第 2 会議室

出 席 者 坂井陽二、福安克彦、石黒秀一、鶴飼宏成 (委員長)、亀倉正彦、土田茂、
三村剛、山本康弘、平真弓

欠 席 者 高岡俊彦

事 務 局 金山敏和 (企画部長)、水野隆史 (企画政策課長)、
川合陸仁 (企画政策課課長補佐)、野村圭一 (企画政策課市政戦略係長)、
秋山純一 (企画政策課市政戦略係主事)

説明の為に出席した者 柏木晶 (地域福祉課主幹)、伊東あゆみ (健康課長)、蟹江健二 (産業振興課長)、
鈴木敦詞 (産業振興課課長補佐)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有 (5 名)

次 第 1 開会
2 あいさつ
3 議題
(1) にっしん版DMO構想 (地方創生加速化交付金対象事業) の効果検証
(2) 主要事業の進捗状況について
・平成 28 年度取組実績及び平成 29 年度取組予定
・施策 2-1 地域ぐるみの健康長寿のまちづくり

配 付 資 料 資料 1 地方創生加速化交付金事業「にっしん版DMO構想」
参考資料 日進の観光まちづくり戦略方針
資料 2 日進市人口ビジョン・総合戦略 主要事業進捗状況等
資料 3 地域ぐるみの健康長寿のまちづくりについて

	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題 (1) にっしん版DMO構想 (地方創生加速化交付金対象事業) の効果検証について
委 員 長	議題 (1) について、産業振興課から説明をお願いします。
産 業 振 興 課	(資料 1、参考資料に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
委 員 員	参考資料の「市全体の観光入り込み客数」は平成 21 年のデータですが、最新データはありませんか。
産 業 振 興 課	現状、平成 21 年のデータが最新データになります。今後の検討の中で直近のデータに変えていきます。

委 員	「尾張東部地域他市との比較」のデータも平成21年のデータとなっており、これらのデータでは、現状の実態を把握できていると言えないと思います。
委 員 長	これらのデータの出典はどこですか。
産 業 振 興 課	市が持つデータになります。
委 員 長	「尾張東部地域他市との比較」についても、他自治体に聞くなどして最新のデータにさせていただき、今回の事業の中で実施したアンケートによる聞き取り調査と併せて実態の分析をしていくことが重要だと思います。
委 員 長	<p>おんぱくについては、地域内発型、または着地型観光として取り入れている自治体があります。周辺地域でもおんぱくについて、長良川周辺で実施したり、東栄町でも若者が実施しようと検討しています。また、先週には石川県で全国のおんぱくサミットが開催されました。このように各地のおんぱくの情報を得ることができます。</p> <p>このような中、日進市ではおんぱくを使いSWOT分析で見えてきた課題に対して効果的に取り組んでいこうと考えているのだと思います。SWOT分析の結果、何が重要なのか、おんぱくで何をどう変えていこうとしているのかを説明してください。</p>
産 業 振 興 課	SWOT分析で、自然に乏しく自然の中でのびのびと子育てしにくい環境である名古屋市等から、日進市に来て農業体験や里山体験等に来ていただくようしていきたいという意見がありました。また、日進市内には多くの大学や、竹の山にあるお洒落なカフェなどの地域資源があること、施設だけではなく人も地域資源ととらえ有効に活用していくことが望ましいということになりました。このような分析結果からおんぱくが日進市にはあっているのではないかと考えました。
委 員 長	<p>自然や人などの資源を改めて認識できたということですね。私の知識から話をしますが、私の知り合いの若者が、自分の出身地である東栄町でおんぱくを具体化していく団体の事務局に入っています。彼は、地元の人たちが、納得した上で協力を得るということが非常に難しいため、すぐにおんぱくを用いることはできないと言っています。このため、いきなりおんぱくを開催するのではなく、準備段階としてのいくつかの事業を仕込んでいかないとダメだと言っています。</p> <p>このように考えると、資料1に平成29年11月1日から約2か月の間おんぱくを開催するとありますが、こんなに早く開催できることに感心する一方で、結論をあせらないという視点も非常に重要であると感じます。このため、つつしん観光まちづくり準備委員会の中で、初年度の目標をどこにおくかをはっきりとさせていくこと必要があると思います。</p>
産 業 振 興 課	7月19日から22日にかけてパートナー説明会を開催し、各種活動団体の方に参加していただけるようお声掛けをしています。そして実際に多くの活動団体にパートナーとなっただき、おんぱくを成功させていきたいと考えております。1年目にいきなり成果が出ないかもしれませんが、2年、3年と長い目で見ながら実施していきたいと思います。

委 員	担当課からの説明や資料から、観光について分析されていることは伝わってきましたが、DMO構想のそもそもの目的、こういう課題があるからDMO構想を推進していくという説明をしていただきたいです。
産 業 振 興 課	今でこそ、日進市の人口は9万人程いますが、20年くらい前は半分くらいの人口でした。人口増加の一因として、日進市外から多くの方が転入したことがあげられますが、特にこのような方は日進市の良さを確認できていない状態で生活されているという実態があります。このため、日進市の良さはなんだろうということを理解や再発見していただくとともに、日進市外にも日進市の良さをPRしていき、更に多くの方に日進市に来ていただくことを目指していこうという中で、DMO構想が考えられました。
委 員	にしん観光まちづくり準備委員会のメンバーをしている関係上、補足説明させていただきます。日進市のDMO構想のポイントは4点あると考えています。1点目は、中部・北陸地方における昇龍道プロジェクトの方向性と足並みをそろえていること、2点目は、竹の山地域への市内外からの交流人口の増加、3点目は、対市民向けの観光に力を入れていく、4点目に市長マニフェストに記載されていることが挙げられます。
委 員	近隣自治体には段々観光施設が増えてきています。ただ、近隣自治体と同じことをしていてもあまり意味がないので、市外からの観光、市民に愛着を持ってもらうための取組として、日進市はおんぱくを取り入れようということはいい考えだと思います。今後は、おんぱくをどう使って市民に周知し協力してもらえるかという仕掛けが大事になってくると思います。この時に、市の思いだけでは市民も動いていただけないと思うので、経済的な支援も必要になってくると思います。
委 員	私は、日進市に転入してきました。そして、私自身日進市をより知りたいと感じたため、昨年度本事業の一つであるイケカレに参加しました。非常に勉強になったと感じました。日進市内にはヤル気のある人や、優秀な方が沢山います。しかし、イケカレは平日開催であったため、現役世代の参加が非常に少なかったと思います。このことは非常に残念でした。 色んな人に参加していただきたいという考えがあったので、まずはということで開催したということは理解していますが、参加していた人の反応や、私の感じたことを考慮して、まずは市民にいかに日進市を知っていただくことが大事なのではないかと感じました。まずは市民の方に日進市を知ってもらい、市への愛着を高めてもらうことがあって、日進市の良さを伝える人材を育て、この次に経済効果や観光という話がかかるのかなと感じました。
産 業 振 興 課	私たちも観光を活用した地域づくりをしていくことを考えています。この観光の部分がおんぱくであり、おんぱくの手法を取り入れることで、日進市民が地域の良さを知るきっかけとなり、日進市の良さを伝える人材が育つものだと考えています。
委 員	観光という言葉を使うと市外から人を呼び込むように聞こえてしまうため、市

	民としては何をしようとしているのかがよくわからないということになります。末永い日進市の繁栄のために、市内の素晴らしい地域資源に対する正しい理解を市民にさせていただくことが大事だと思います。
委員長	色々な意見を取り入れていただいて、進化していただけたらと思います。人材育成、リーダー育成は重要なことであるとともに、育成をするまでもなく既に優秀な人材がいる場合もあるので、この人たちにどう協力していただけるかを検討する必要があると思います。
委員	高齢者が増えてきていますが、高齢者は長い間地域に住んでもらっていて、色々な知識や経験が豊富なので、できるだけ市の経済活動やおんぱくなどに参加していただけるような仕組みづくりが必要だと思います。説明会を行うことはいいことだと思いますが、どのように参加していただけるかを考えることは大切だと思います。
委員	日進市の一番大きなイベントはにしん夢まつりだと思いますが、JA、商工会、行政等が一体となってまつりを盛り上げています。このにしん夢まつりを有効に活用してDMO構想を盛り上げていくことが重要だと思います。
委員長	そのとおりだと思います。関係者それぞれが当事者意識を持ち、地に足をつけることでDMO構想を推進していただきたいと思います。
委員	どんな事業でも費用がかかります。昨今は緊縮財政と言われ仕方がない部分もありますので、ボランティアの力を借りることも重要だと思います。
委員長	引き続き議題(2)のうち、平成28年度取組実績及び平成29年度取組予定について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料2、参考資料に基づき説明)
委員長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。 ないようですので、引き続き議題(2)のうち、地域ぐるみの健康長寿のまちづくりについて地域福祉課及び健康課から説明をお願いします。
地域福祉課 健康課	(資料3に基づき説明)
委員長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
委員	介護支援ボランティア制度の対象者は高齢者となっています。高齢者ではない人がボランティアをするための制度はないのでしょうか。
地域福祉課	今のところはありません。
委員	なぜ、ないのでしょうか。
地域福祉課	本事業は、高齢者の介護予防を目的として、介護保険特別会計から予算を執行している事業のため、高齢者だけが対象となります。
委員	私は日進で生まれ育ってきました。私が住んでいる区民会館もつどいの場にあたりますが、初めは30人くらいしか参加しませんでした。今では多いときに80人くらいの方が集まります。私の住む地域のいきいきサロンでは、午前中だけで80人集まりますが、みんな70歳代であります。私が住んでいる地域だけ

	ではなく各地域でこのような活動の場があることがあるべき姿だと感じます。
委 員	足腰おたっしやクラブの参加者数が38名というのは妥当な数字なのでしょう か。事業には税金が投入されているので、税金はすべて等しく使われるべきだ と思います。
地 域 福 祉 課	38名と少ない人数となっていますが、介護保険の制度改正があり、本市が介 護予防・日常生活支援総合事業へ移行したのが、平成28年10月からになりま す。制度移行後間もないこともあり本事業の対象となる方が非常に少ないことが 原因の1つと考えております。今後、平成29年中には経過措置も切れて対象者 は増えてきますので、参加者が増えてくるものと考えております。
委 員	このようなサービスは利用条件があるのでしょうか。
地 域 福 祉 課	介護認定において、要支援の認定を受け、かつ、ケアマネジメントの中で、当 該サービスが必要とされた人か要支援の認定を受けていない人でも基本チェッ クリストの結果を踏まえ、ケアマネジメントの中で当該サービスが必要とされた人 に、このサービスを利用することができます。
委 員	生活習慣病重症化予防事業で14人に個別訪問し、3人の受診につながったと ありますが、3人は少ないかなと感じました。もちろん本人から自発的に受診し ていただくのが理想ですが、行政が関与し受診につなげていくことも大切だと思 います。
健 康 課	この事業は平成28年度から始めた事業です。糖尿病が進行すると透析が必要 になり、多くの医療費が発生します。このため、糖尿病になることを1人防いだ だけでも財政的に効果があると言われております。しかし、特定健診を受けたけど も、受診をしないという人がかなりいます。確かに3人が多いか少ないかと言わ れれば、少ないと思いますが、一人でも多くの方に受診していただき、重症化を 予防していければと考えていますので、今後も事業を続けていきます。
委 員 長	私は日進市の他の会議にも参加しているのですが、この中で検診結果の情報を どう読むか、どう理解するかということと、どう行動するかといったことが全く 違うことであるという指摘がありました。もう一つ、市民全員が、国民健康保険 被保険者というわけではありません。市内の民間企業はそれぞれの健康保険組合 を持たれていると思います。生活習慣病重症化予防事業については、誰も反対を しないでしょうが、行政が行うだけでは不十分な対応であって、産官学民が協力 して初めて、個別訪問した14人全員が受診し、あるいは特定健診の受診率を向 上させ、潜在的な受診対象者を見つけ出すことができるのではないかと考えます。 短期的にはできないかもしれませんが、長期的な取組で効果のある事業を実施し ていただきたいと思います。
健 康 課	国民健康保険被保険者の方と同じくらの人数が協会けんぽの被保険者でありま す。日進市と協会けんぽは協定を締結しています。健診は日進市と協会けんぽそ れぞれで実施するのですが、協会けんぽ被保険者の被扶養者は市が実施するがん 検診を受けていただく場合があります。このため、協会けんぽが特定健診の通知

	<p>をする時に、併せて市が実施するがん検診の案内を同封していただくような取組を開始しています。委員長が言われたとおり、このようなことを推進していくことで、市全体の健康づくりにつながっていくと考えています。</p>
委員長	<p>議題(2)については、以上となります。最後に少し時間がありますので、本日の全ての議題を通して、ご質問やご意見等ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>おんぱくの話になりますが、多くの市民はおんぱくが何であるのかを把握していないのではないのでしょうか。私自身も、この委員会の場でしかおんぱくという言葉聞きません。おんぱくの形は様々であるということです。まず日進市はどのようなおんぱくをしていきたいのかというのを示さない議論にならないのではないのでしょうか。私自身おんぱくには非常に期待しています。</p>
産業振興課	<p>7月号の広報にっしんでは、おんぱくという言葉はなじみが薄いので、ぐるぐる NISSHIN まちミル博覧会パートナー説明会という名称で説明会の案内をしています。</p>
委員	<p>広報にっしんを見ても、このぐるぐる NISSHIN まちミル博覧会とおんぱくが繋がりませんでした。今、説明を受けて、この二つが同じことだということを理解することができました。今後は暮らしの情報のページだけではなく、広報紙面の最初の2ページくらいを使って知っていただいた方がいいと思います。</p>
産業振興課	<p>今後は広報にっしん以外でも、区の回覧物や事業者、NPOにも周知を図ろうと考えています。</p>
委員	<p>何を目的に実施するのかが見えてきません。人口を増やしたいのか、産業を発展させていきたいなどといった目的をはっきりさせて事業を実施していくべきだと思います。総合戦略は日進のまちづくりに主眼をおいているのだと思います。これまで委員会の中で、教育や健康の議題が多く取り上げられました。これらのことに力をいれていくことは当然いいことだと思いますが、まちづくりについて面的整備をどのようにしていくかについての議論がこの委員会の場ではないと思います。人口を増やしたいということはわかります。では日進をどのようなまちにしていきたいのかが見えてきません。</p>
委員長	<p>これは根源的な質問だと思います。日進市には総合計画という10年計画があり、この中で掲げる「いつまでも暮らしやすい みどりの住環境都市」という将来都市像に向けて、色々な事業を実施しています。一方で総合戦略については、人口に着目し、ヒトと仕事をどう繋ぎあわせていくかについて中心的に取り組んでいるのだと思います。</p>
委員	<p>行政の目的をはっきりしないと、市民は行政が行おうとしていることに目が向かないのではないかと思います。</p>
委員	<p>私も良く分かっていない部分があるので、今一度、市民に日進市はどのようなまちづくりをしようと考えているのかを広報にっしんの紙面を割いてでも知らせしてほしいと感じています。長久手市は現在、総合計画を策定している最中なので、よく記事を目にします。</p>

委 員	ここに人間がわからなければ、他の市民がわからないと思います。日進市をよくしようとしていることはわかるし、やっていることそれぞれはいいことなのですが、何を目標に頑張ればいいのかがよくわからない部分があります。
委 員 長	これまでの各委員の意見は、行政が行いたいことをはっきりしていきたいという願いと受け止めていただけたらと思います。ただ、総合計画と総合戦略と名前が似ているが違うものだということが市民にも分かるように情報が提供されていないことも事実だと思います。今後はこの課題に対して、回答をお返ししていただけることを望みます。
事 務 局	委員の皆様、それぞれのご専門やご経験から大変貴重なご意見をいただき、大変参考になりました。 以上をもちまして、平成29年度第1回日進市総合戦略推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。
	閉会